

(株) ODKソリューションズ
『域学連携シンポジウム』
WG資料

2023年10月31日

株式会社ODKソリューションズ

本日の発表内容

- ・ 企業概要
- ・ 地方創生プラットフォーム「Local Bridge」について
- ・ 洲本市様でのお取り組み
- ・ 今後について

企業概要

弊社ODKソリューションズは、大阪に本社を構える機密性の高い大量のデータ処理に強みを持つIT企業です。

EdTech 教育



学校法人

- ✓ 大学入試BPO提供や
入試業務DX化の支援
- ✓ 教育系Webサービス
(模擬試験、アプリ開発)

HealthTech 医療



医療機関等

- ✓ 臨床検査システムの運用等

FinTech 金融



証券会社

金融機関

- ✓ 証券会社、金融機関向けシステムサービスの提供
- ✓ マイナンバー収集・管理システムの提供

その他



一般事業法人

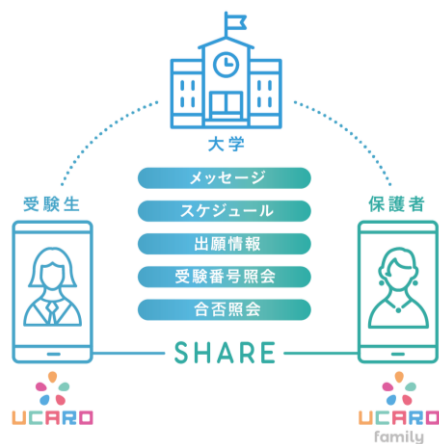
- ✓ 学習管理システム (LMS) の提供及びEラーニング教材開発、販売、運用
- ✓ カスタマーサポートサービスの販売



企業概要

特に教育の領域では1964年から大学入試に関わる業務を委託を開始し、現在では、全国の大学109校、**受験生の約2人に1人**（39.4万人／63.5万人）が『UCARO』を利用いただいています。

※2023年3月末時点



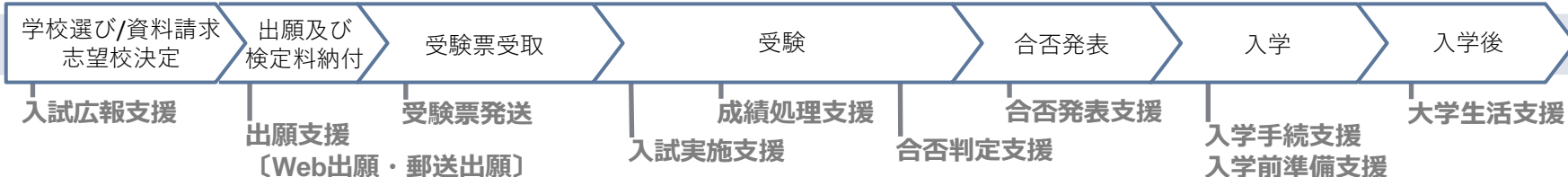
日本初!

大学横断型
受験ポータルサイト
『UCARO®』

受験生は
無料!

Web出願システム
(UCARO出願)

入試アウトソーシング
サービス



ODKにおける地方創生プラットフォーム「ローカルブリッジ」新規事業創出の背景

弊社の入試業務、証券業務を中心とするデータを取り扱うビジネス領域で培った経験とノウハウの蓄積を生かし、データの持つ価値をITの力で活用し、ひとりひとりの人生にストーリーを紡げる次の成長基盤となる新規事業開発に取り組んでいます。

その中でも特に、社会的な時代の変化が激しいこの世の中で大学受験を通じてUCAROの利用者となった高校生、大学生がよりよい将来を思い描くことができ、なりたい自分を目指すことに伴走する体験を価値に変えるサービスの創出を目指し、このプラットフォーム構想を立案しました。

< 弊社が中期経営計画で目指しているもの >

『UCARO®』ブランドによるサービス拡張



2016年7月リリース

大学受験を目指す全ての学生に伴走する
大学横断型受験ポータルサイト



高校生



2022年3月β版リリース

ガクチカイベントへの参加、経験の蓄積、
可視化を通じて自信を持って就活に挑む
ことに伴走するサービス



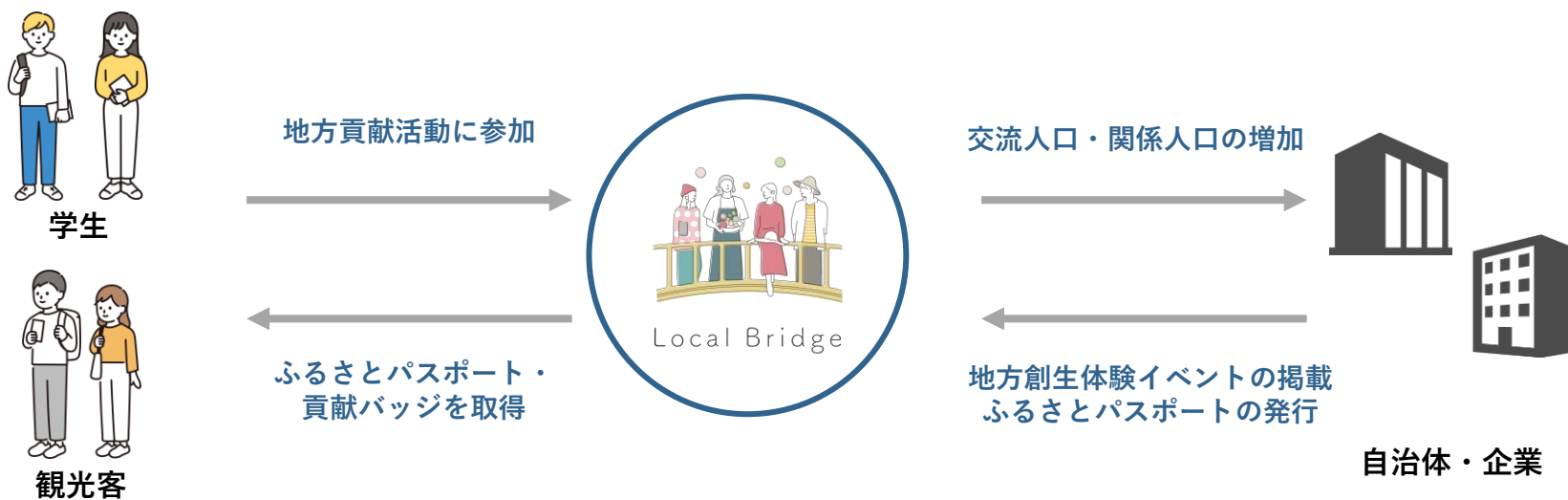
大学生



社会人

「Local Bridge」について

Local Bridgeは、地方創生に関心のある方が日本各地での体験を通じてその場所の「ふるさとパスポート」を取得することで、交流人口・関係人口づくりを促進する新しい形のデジタルプラットフォームです。



Local Bridge URL 11/1 明日公開予定

<https://local-bridge.com/>

「Local Bridge」で解決する課題

交流人口、関係人口づくりでの課題である若年層が地方に関わってもらう接点づくり、実績の可視化・一元化を解決します。

1

若年層の関係人口づくり 第2のふるさとづくり



社会貢献活動、地方創生に関心度の高い大学生を中心とした若年層の「第2のふるさとづくり」のきっかけとしての「ふるさとパスポート」を発行することで、生涯持ち続けられる形としての関係人口創出を図れます。

2

交流人口、関係人口の 定量的な可視化



関係人口創出プロジェクトにおいて課題となる交流人口、関係人口の見える化を行います。

「ふるさとパスポート」の取得者数と活動履歴の蓄積データにより、定量的な可視化を図ることで、KPIの設定を行えるなど、町の計画づくりに活用することができます。

3

貢献活動の記録の一元化

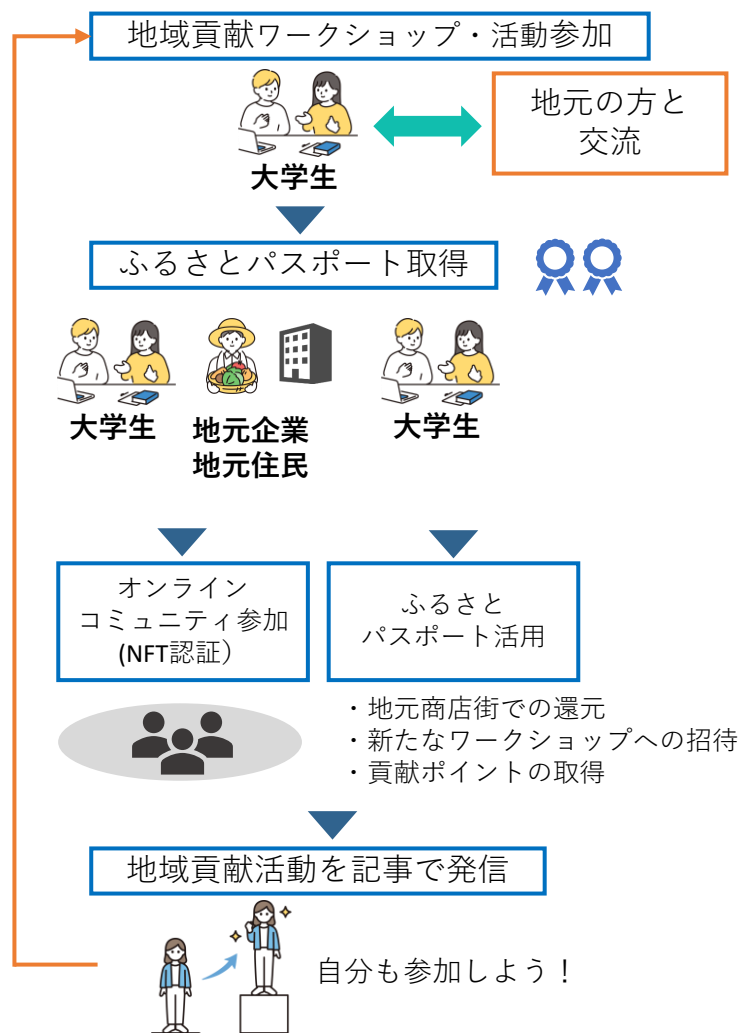


活動に参加すると受け取れるNFTバッチはQRコード等により簡単に配布・取得でき、デジタルデータとして失くさない・改ざんされないという特徴があるため、自治体の各部署や教育現場、NPO等で実施された地域貢献活動の記録を集約することができます。

ふるさととパスポート・貢献バッジとは

ふるさととパスポートは、その地域に繋がりを持ち、地方創生に関わる活動へ参加したことを証明するデジタルパスポートです。

貢献度バッジは、どんな分野の活動に参加したかを表すバッジです。



特長

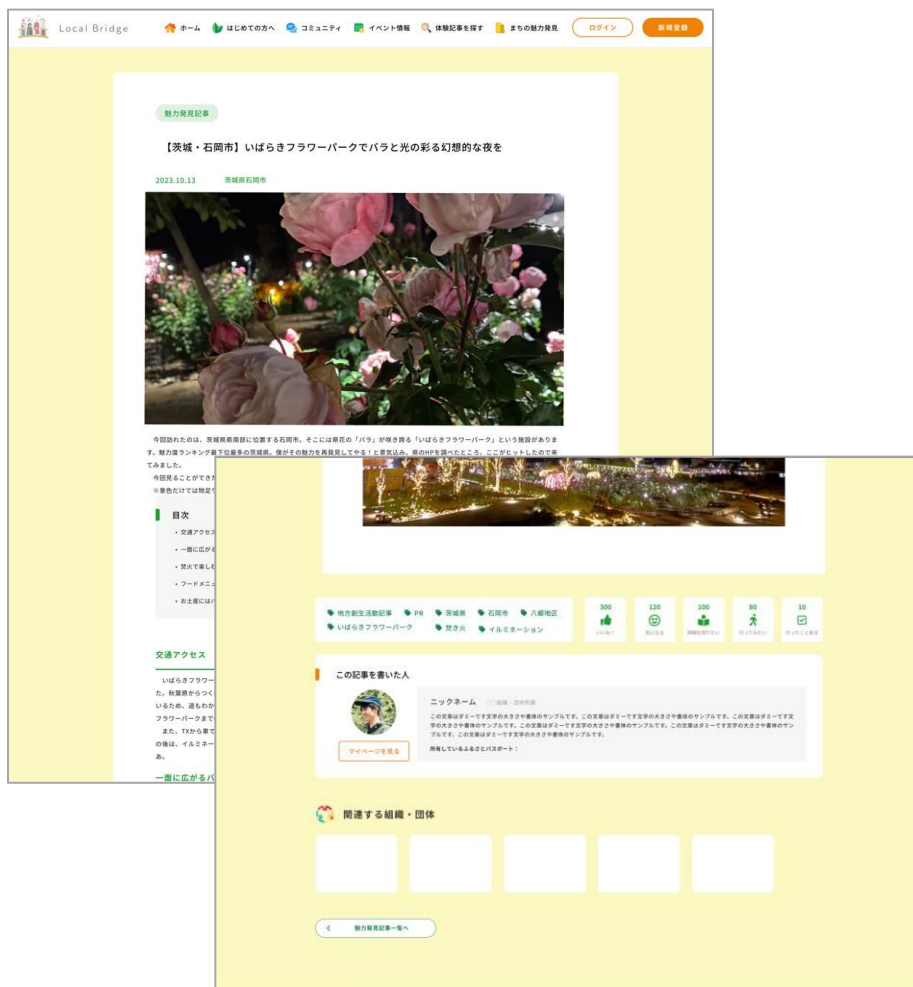
- ▶ 現地で地域貢献活動に参加すると「ふるさととパスポート」を取得することができます
- ▶ 活動に参加するごとに参加を証明するNFTバッジが別途発行され、活動履歴の記録と貢献ポイントが発行されます
- ▶ 貢献ポイントを貯めると自治体が用意したインセンティブに利用することができ、地域貢献と社会課題を解決する活動として実現したいことを達成することに活用できます

バッジのイメージ




イベント体験記事・魅力発見記事とは

イベント体験記事は、地方創生体験をした取り組みの内容や体験を発信する記事です。
魅力発見記事は、ふるさとパスポートを持っている地域の魅力を発信する記事です。
いずれの記事の執筆も地方創生活動の一つとして、貢献バッジが発行されます。



特長

- ▶ 記事に対する反応を5種類のアイコンを通じて知ることができ、
どういった活動に反応・共感が得られるのかを知ることが出来ます。
- ▶ ライターのマイページへ遷移すると、これまでどういう地方
貢献活動をしてきて、どういうふるさとパスポート、貢献
バッジを持っている人なのかを知ることができます。
- ▶ 活動をしている方と繋がりたい場合には、Local Bridgeコミュニ
ティへ移動し直接繋がりを持つことが出来ます。

 [Local Bridgeコミュニティ](#)



洲本市でのお取り組み

「第2のふるさとづくりワークショップ in 洲本市」をPoCとして実施

▶実施目的

- ・地域の取り組みに地域外の大学生が参加するプログラム作りをすること
- ・NFT技術を用いたふるさとパスポートの実証実験をすること

<2023年2月実施>

参考：<https://digitalpr.jp/r/67733>

▶実施概要



▶スケジュール

募集期間：2023/1/20～31

ワークアカデミー様と共同で募集告知

オンライン事前ワークショップ 2023/2/14

事前に動画を見て、ワークを提出
洲本市役所職員と地域おこし協力隊隊員へ質疑応答

洲本市でのワークショップ 2023/2/24～2/26

地域を知るフィールドワーク（地元住民の方との交流）
古民家の改修
ふるさとパスポートの発行体験と商店街での利用



洲本市でのお取り組み

▶ 現地でのスケジュール

2023年2月24日（金）DAY1

- 10:45 洲本市高速バスセンター集合、workation hub へ移動
三宮(8:40or9:10 発 JR バスの場合)の便への乗車が必要です
- 11:00～11:30 自己紹介
- 11:30～12:00 昼食 workation hub にてお弁当
- 12:00～12:30 千草竹原地区へ移動
洲本市役所からマイクロバスで古民家へ移動します
- 12:30～14:00 古民家周辺の散策
地域おこし協力隊小林さん先導のもと散策と地域の方から千草竹原地区についての話を聞きます
- 14:00～16:00 テントサウナの組み立てワークショップ
- 16:00～17:00 DAY1のワーク終了。宿泊先へ移動
- 17:00～20:00 夕食づくり(鍋)&交流
参加者・主催者をまじえ夕食づくりと食事をしながらの交流の場とします

2023年2月25日（土）DAY2

- 09:30～10:00 千草竹原地区へ移動
朝食は前日の道中でコンビニに立ち寄り各自調達となります
- 10:00～12:00 古民家改修のワーク
- 12:00～13:00 昼食 エビスパにてお弁当
- 13:00～16:00 古民家改修のワーク
- 16:00～17:00 DAY2のワーク終了。宿泊先へ移動
- 17:00～20:00 夕食づくり(カレー)&交流

宿泊施設について

2泊していただく宿泊施設は相部屋での共同生活となります。(男女別の部屋を準備) ご理解の上、ご参加をお願いします。

2023年2月26日（日）DAY3

- 09:00～09:30 千草竹原地区へ移動
朝食は前日の道中でコンビニに立ち寄り各自調達となります
- 09:30～11:30 古民家改修のワーク
- 11:30～12:00 デジタル修了証交付&ふるさとパスポート使い方説明
- 12:00～12:30 洲本市役所へ移動
- 12:30～14:30 洲本市散策
昼食(実費)&自由時間となります。この時間でふるさとパスポートの活用体験も実施いただきます
- 14:30～16:00 workation hub にて振り返りワーク
- 16:00 洲本市高速バスセンターへ移動・解散
三宮方面へは30分に1本バスがありますので、ご都合に合わせてご乗車ください

▶ 応募の結果

12大学38名の応募

▶ 参加者の属性

10名参加（12名参加予定）

1回生：4名 2回生：2名、3回生：5名 4回生：1名

経営学部、生活環境学部、法学部、教育学部、

外国語学部、知的財産学部

人間科学部、（政策学部、理工学部）

洲本市でのお取り組み

▶ 参加した大学生からの声

応募動機

自分の故郷も過疎化が進んでおり、地域おこしの体験を通じて、地方創生のやり方を学んでいきたいです。

3年生からのゼミで行政法を学ぼうと思っており、地方が抱える行政課題に関心があったため応募しました。
座学だけでなく体験型の学びにも興味があるため参加したいと考えています。

地域のあり方に興味があることが一番の応募動機です。
淡路島でも厳しい現状を改善するためにどのような人がどのような取り組みを実際に行なっているのかが知りたいです。
大学生活の中で、東淀川区の豊新地域に深い関わりを持ちました。ここでは地域のことが好きな大人たちが地域課題に対して周りと協力しながらこども食堂やお祭りの開催を行なって地域活性化に尽力しています。廃れているわけではありませんがそれでも多く存在する地域課題に対して向き合っている姿がありました。
その中で他の地域はどうだろうと知りたと思いました。様々な地域のあり方を見て、地方創生に対して積極的な地域の共通点を見つけたいと考えています。淡路島でも今回のワークショップのような活発な活動を行っているのはどのようにしてそうなったのか知りたいです。
そして淡路島で学んだことを「人の住みやすい地域とはどのような地域か」を考える上で活かしたいと思います。



洲本市でのお取り組み

▶ 参加した大学生からの声

今回の体験を今後どのように活かしたいか

全員初対面でのプログラムだったのですが、全ての人と話すことができ、良い雰囲気となれたことから、今後多くの人と会話する時の自信につながった。周りの人と協力しなければ出来ないことが多かったので、自分ひとりでやろうとせず、周りに頼ることの大切さを改めて実感した。周りの人達の意識を自分に吸収していきたい。

はじめての人と話す時がこれから就職しても必ずあります。その時に今回挑戦したことを思い出して、自分から人との関係をつくりにいきたいです。地方創生をするやり方はそれぞれあると思うのですが、古民家再生をする時に大学生を呼び込むことに意味があると思いました。今後、就職する時も、地域の人のために何かする企業に入りたいですし、公務員になった時も何かに挑戦して地域を盛り上げることができる人になりたいと思っています。



今後について

地域と若者の架け橋となれる取り組みを今後もより加速していきたいと考えております。

1

Local Bridgeを通じた ふるさとパスポートの発行



オフライン・オンラインでの地方創生に関わった体験の総量を増やしていくためにふるさとパスポートの発行を行っていきます。

2

コミュニティづくり



ふるさとパスポートを持つ方々同士がオンライン・オフラインでの同じ興味を持つ仲間となれる、コミュニティづくりを行っていきます。

3

学生の力を使った情報発信



学生が学生目線での自身の体験を発信することで、学生が学生を呼ぶしくみづくりを構築していきます。

ありがとうございました